

NEW

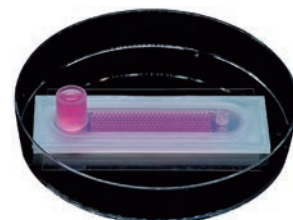
円形度の高い均質なスフェロイドをハイスループットに作製できます!

# CellHD-256 〈3D Hanging Drop Spheroid Cell Culture Chip〉

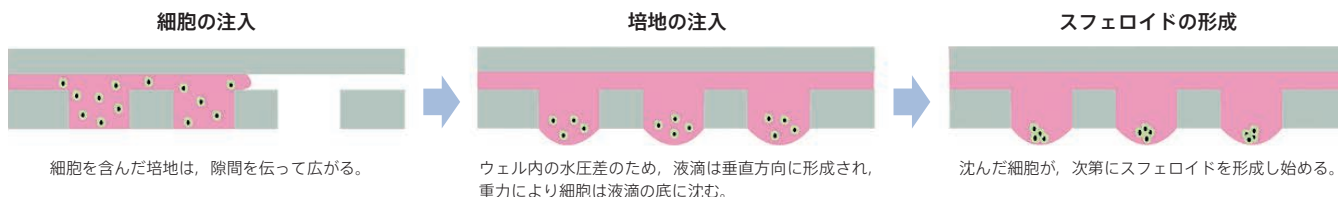
CellHD-256 は、ハンギングドロップ法を用いたマイクロ流路デバイスで、液滴（ドロップレット）の底面に均一なスフェロイドを形成します。256 個のウェルを持つため、多数のスフェロイドを一度に得ることが可能です。

## 特長

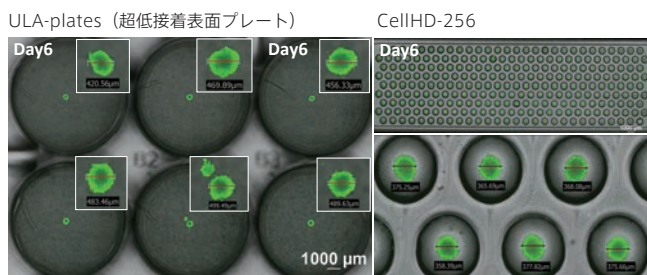
- 1 枚のデバイスにウェルが 256 個あり、スフェロイド作製がハイスループットに行えます。
- ピペットを用いて簡単に培地交換ができます。
- 培地使用量を抑えて、三次元培養をより簡便かつ低価格で行えます。
- 高倍率での観察が可能です。



## 操作方法概略



## 使用例

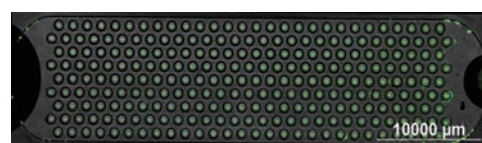


### ULA 法と CellHD-256 との比較

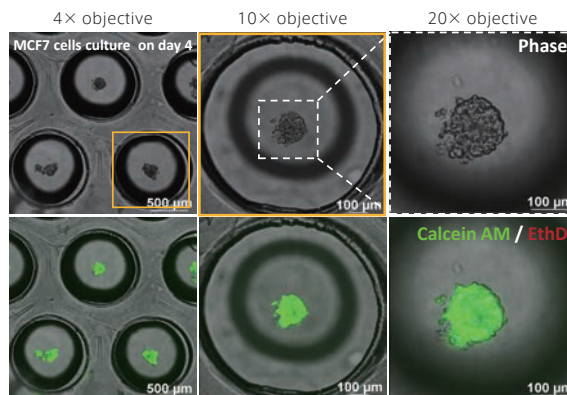
ヒト神経膠芽腫である U87 細胞を、超低接着表面 (Ultra Low Attachment, ULA) プレート、あるいは CellHD-256 を用いて 6 日間培養し、得られたスフェロイドを Calcein AM を添加して観察した。CellHD-256 を用いて得られたスフェロイドは、均一・円形度が高い傾向が見られた。

## 三次元スフェロイド作製方法の比較

	CellHD-256 (本製品)	ディッシュによるハンギングドロップ法	超低接着表面プレート法
スループット	+++	+	++
培地交換	+++	+	+
高倍率での観察	✓	×	✓
スフェロイドの円形度	+++	++	++



MCF7 cells culture on day 4



### MCF7 細胞 (ヒト乳がん細胞) を用いた使用例

MCF7 細胞を 4 日間培養し、4 倍、10 倍、20 倍の倍率で観察を行った。同一対象を、下図上段は位相顕微鏡で、下図下段は Calcein AM / EthD-1 を添加して蛍光顕微鏡で画像を得た。

品名	メーカー 商品コード	包装 / 価格 (¥)
CellHD-256 〈3D Hanging Drop Spheroid Cell Culture Chip〉	ORG CellHD-256	10 pieces / 15,000